



F-REIの最近の動き

福島国際研究教育機構

F-REIのWebサイトに掲載されている「F-REIの最近の動き」から
4月分のみ抜粋しております。

詳細はF-REIのWebサイトをご覧ください。

(<http://www.f-rei.go.jp/>)

F-REI設立後の出来事（4月）

- 4月1日 福島国際研究教育機構 設立
- 4月1日 福島高専との基本合意書の締結
- 4月5日 F-REI福島医大研究分室の開所式
- 4月5日 福島医大との基本合意書の締結
- 4月7日 中期計画及び助成等業務実施計画の認可
- 4月14日 F-REI国際アドバイザーの決定
- 4月15日 F-REIいわき出張所の開所式
- 4月15日 いわき市との基本合意書の締結
- 4月19日 ICRU国際シンポジウム 開催
- 4月15日 F-REI設立記念シンポジウムの開催
- 4月28日 令和5年度の年度計画の届出

令和5年4月1日（土） 福島国際研究教育機構 設立



福島国際研究教育機構（略称：F-REI）は、福島復興再生特別措置法に基づき、令和5年4月1日に設立された特殊法人です。福島をはじめ東北の復興を実現するための夢や希望となるものとともに、我が国の科学技術力・産業競争力の強化を牽引し、経済成長や国民生活の向上に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指しています。

同日、浪江町ふれあい福祉センターで開所式を行い、岸田首相や渡辺復興大臣らが出席しました。

（1）F-REIのミッション

福島をはじめ東北の復興を実現するための夢や希望となるものであるとともに、我が国の産業競争力を世界最高の水準に引き上げ、経済成長や国民生活の向上に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指すことにあります。

（2）世界水準の研究推進と 成果の社会実装・産業化

F-REIでは、福島や世界の課題解決を現実のものとするため、研究開発を行うのみならず、研究成果の社会実装・産業化や人材育成についてもその主要な業務として取り組みます。あわせて、福島に既に立地している研究施設等の取組について横串を刺す調整機能を持った司令塔としての役割も果たしてまいります。

（3）創造的復興の中核拠点

F-REI設置の効果が広域的に波及するよう、地域の市町村や住民、企業・団体等との間で様々な形のパートナーシップで連携し、F-REIの施設の中だけでなく、施設の外も含めて広域的な実証研究フィールドととらえ、「世界でここにしかない多様な研究・実証・社会実装の場」を実現し、国際的に情報発信してまいります。

令和5年4月1日（土） 福島高専との基本合意書の締結

4月1日、福島工業高等専門学校（福島高専）との間において連携協力に関する基本合意書を締結しました。

今後、この基本合意書に基づき、研究開発、人材育成等に関する連携協力を進めてまいります。



令和5年4月5日（水） F-REI福島医大研究分室の開所式

4月5日、F-REI福島医大分室の開所式を開催しました。

F-REI福島医大研究分室は、F-REIとして最初の研究組織である放射生態学ユニットが置かれます。F-REIの第1期中期目標期間である7年の間に、研究グループを50まで増やし、研究開発体制を充実していく計画です。



令和5年4月5日（水） 福島医大との基本合意書の締結

4月5日、福島医科大学とF-REIとの連携協力に関する基本合意書を締結しました（2件目）。

これは、相互の研究開発、人材育成等の充実を図っていくことを目的とするものであり、今後、この基本合意書に沿って、互恵的な連携協力を進めていきます。



令和5年4月7日（金） 中期計画及び助成等業務実施計画の認可

4月7日、F-REIの中期計画及び助成等業務実施計画が主務大臣から認可されました。中期計画は、令和11年度までの7年間における中期目標を達成するための計画です。

第一期となる本中期目標期間においては、「基盤作りと存在感の提示」に重点を置くこととし、機構の施設が整備され、その活動が本格的に軌道に乗ることが見込まれる第二期中期目標期間（令和12年度～令和18年度）を見据えながら、たゆむことなく復興に貢献できるよう、取組を進めます。

令和5年4月14日（金） F-REI国際アドバイザーの決定

4月14日、国際的な知見を有する外部有識者からF-REIの運営等に関しご助言をいただくため、4名の外国人有識者に国際アドバイザーとしてご就任いただきました。

今後、国際アドバイザーからのご意見等を踏まえつつ、F-REIの国際連携や国際的な発信を一層推進してまいります。



スヴァンテ・
リンドクヴィスト博士
Dr. Svante Lindqvist



ライムント・
ノイゲバウアー博士
Prof. Reimund Neugebauer



フィオナ・
レイモン博士
Dr. Fiona Rayment



スブラ・
スレッシュ博士
Dr. Subra Suresh

令和5年4月15日（土） F-REIいわき出張所開所式

4月15日、F-REIいわき出張所開所式が行われました。これは、量子科学技術研究開発機構（QST）が保有していたいわき出張所を、F-REIが引き継ぐこととなったものです。

今後、いわき市などとも協議をしながら、「F-REIの様々な活動の情報発信の場」など有効な活用を検討していきます。



令和5年4月15日（土） いわき市との基本合意書の締結

4月15日、F-REIいわき出張所開所式
の開催にあわせ、いわき市とF-REIとの連
携協力に関する基本合意書を締結しま
した（3件目）。

これに基づき、いわき市との間で双方の資
源を有効的に活用した協働活動を推進
してまいります。



令和5年4月15日（土） F-REI設立記念シンポジウムの開催

4月15日、福島県をはじめ国内外の方々に、F-REIの役割、機能、今後の活動計画等を国内外に発信するため、F-REI設立記念シンポジウムを主催いたしました。

国内外の関係者をお招きし、同時にオンライン配信を行うことによって、F-REIの取り組み・方向性を知っていただく重要なキックオフとなりました。



令和5年4月19日（水） ICRU国際シンポジウム 開催

4月19日、国際放射線単位測定委員会（ICRU）の委員をお招きし、ICRU国際シンポジウムを開催いたしました。

山崎理事長によるF-REIの事業紹介、6名の有識者の方々からテーマに沿った詳細な講演、総合討論が行われました。

※シンポジウムについては、福島国際研究教育機構（F-REI）、産業技術総合研究所計量標準総合センター（NMIJ/AIST）、国際放射線単位測定委員会（ICRU）の三者主催の形式により開催されました。



令和5年度の研究開発等業務の 運営に関する計画（年度計画）の届出

4月28日、令和5年度の研究開発等業務の運営に関する計画（年度計画）を届け出ました。

年度計画は、中期目標や中期計画を踏まえ、F-REIに期待されている成果を最大限発揮するために、令和5年度において、法人自身がどういった方向に向かうべきかを記載したものです。

「基盤づくりと存在感の提示」に向け、設立初年度における計画を達成できるよう、しっかりと取り組んでまいります。

F-REIのロゴマーク募集中

国内外の多くの皆様に親しみと関心を持っていただくため、F-REIのロゴマークの募集中です。

応募期間は4月21日～6月30日です。

F-REIの活動内容や特徴などを視覚的に表現するロゴマークを設定し、F-REIの認知度向上につなげることが目的です。

また、これを機に、F-REIがどんな背景で、どんなことを目指して設立されたものかを知っていただくとともに、身近な存在として親近感を感じてもらい、より多くの方々を巻き込んで活動を展開し、F-REIに期待される役割を果たしてまいります。



F-REI (福島国際研究教育機構)

ロゴマーク大募集

2023.04.21(金)～2023.06.30(金)

賞金5万円
(未成年者は保護カードまたはクレジットカード)
どなたでも応募可

福島国際研究教育機構

(Fukushima Institute for Research, Education and Innovation, 略称F-REI)は、福島をはじめ東北の復興を実現するための夢や希望となるとともに、我が国の科学技術力・産業競争力の強化を牽引し、経済成長や国民生活の向上に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指し、令和5年4月に設立されました。国内外の皆様に広く親しみと関心を持っていただくため、F-REIを象徴するロゴマークを公募します。

F-REIのミッションは

研究開発	産業化	人材育成	司令塔
------	-----	------	-----

キーコンセプトとしては、例えば

わくわく	創造的復興	世界水準	イノベーション
------	-------	------	---------

これらを参考に自由な発想で創作してください。
沢山のアイデアをお待ちしています!

▼ロゴマーク公募公式サイト
<https://f-rei.reconstruction.go.jp/competition-logomark/>

▼ロゴマーク公募応募フォーム
https://lnlb.f.msgs.jp/webapp/form/25361_inlb_1/index.do

世界に冠たる 「創造的復興の中核拠点」へ